

## 年の瀬を迎え

11月も間もなく終わり、師走を迎えます。クリスマス、お正月と例年ならば年甲斐もなく、気持ちが高揚するところです。昨年を思い起こすと、改めて世の中の様子が大きく変化したことを実感します。それでも家族や親せきなど大切な人たちとの結びつきを一番感じられるこの時期です。皆様におかれましても、例年以上に良い年の瀬となりますことをお祈り申し上げます。

さて、コロナウイルスの感染者が山梨県内でも332人となり、11月に入ってから感染者の数が全体の三分の一を上回る116人（11.25AM現在）で、今後の感染拡大が懸念されます。学校でも朝の手洗い、検温チェック、健康観察をこれまで通り行うとともに、3密を回避する生活を重ねていきます。上条中学区全体で寒さに負けず、感染症対策をしっかりと行っていきましょう。今後とも、上条中学校教育へのご理解と御協力をお願い申し上げます。

上条中学校 校長 茅野賢一

## コロナ禍における家庭学習の勧め

部活動の練習、野球の素振り・ティーバッティング・・・バスケットボールのシュート練習等は、自主練習をしている人も少なくないと思います。顧問の先生に「家に帰って素振り500回してくること」と言われると案外前向きにできたりします。良い成果をあげるために、何をすればよいかははっきりわかるから取り組む意欲が湧いてくるのでしょう。また、好きなことには誰もが前向きになるものです。一方、漢字や計算の練習はやる気にならないこともあります。やる気は自分の心の内側から出てきます。「どんな仕事に就いて、どんな大人に生りたいか」追い求めることで見つけることができるかもしれません。

### ①知識・技能の確かな習得

ワークや先生がつくったプリントを、できること、できないことを見極めながら行い、わからないことは先生や友達に相談すると良いですね。これが、習慣化すると実力がアップします。

### ②教科書・ワークを使っての予習

上条ホームスタディはこの予習でした。本来は、「好きなテレビ漫画を先取りして本で読む」といった気持ちで予習ができると能率が上がります。そんな気持ちになったらやってみましょう。

### ③発見したり、発展的に捉えたりすることのために

家庭学習で「作業」に取り組むことも大切です。時間のかかる数学の立体づくりや理科の実験をやってみることも考えられます。また、授業で興味が深まったことをまとめてレポートにして提出することも良いですね。

## 「生命」の尊重のために・・・ 大国地区総合防災訓練を終えて

11月15日（日）に上条中学校では初めてとなる大国地区の地域防災訓練が行われました。プールの水を飲める水にしたり、土嚢の作り方積み方を学んだりして訓練がすすめられました。甲府市役所の大国地区担当職員の方々、地元消防団の皆様、連合自治会の皆様が一同に会しての実施です。ご参加いただいた方々をはじめ関係者の皆様には改めて感謝申し上げます。学校は地域の生命を育む要となる場所です。私も参加させていただき、「生命」を尊重することの大切さを改めて考えさせられました。

「生命」という言葉は、様々な解釈ができるそうです。生と死、物質と生物、それぞれを区別する言葉であり、抽象的な考え方です。昔から「生き物が生きた状態」そのものを生命と呼んできました。また、生きた状態が目に見えない何かが生きている状態であるとして、その生きているものを「生命」「命」「魂」などと呼ぶこともあります。（参考ウィキペディア）

昨今のコロナウイルス感染拡大を防ぐことをはじめとして、病気に対することや、各種の災害に対する備え、加えて心の健康・・・上条中学校に関わる私たちが自他の生命を尊重し、同じ地域、同じ時間を過ごせるよう、協力していくことが大切だと強く思います



開 会 式



水の浄化



仮設トイレ設置



土嚢づくりと積み方